



古賀和憲氏 日歯研会長 ①

歯科技工士として今回のコロナ騒ぎをどのように捉えていますか。

古賀 歯科技工士というよりも地球規模で、私は今回のコロナ騒ぎを『スターウォーズ』だと捉えています。あまりにも突拍子過ぎて、何をバカなことを言っていると思われるでしょうが、そう捉えようと私の中では全ての辻褄が合うのです。

——スターウォーズですか。そのような発想はどこから出てくるのですか。

古賀 コロナウイルスに感染した初めての患者が、中国の武漢で報じられたのは昨年12月でした。今年の1月2日から5日間、私は香港・マカオに滞在して、ある会議に出席していました。その時、台湾の人が「インフルエンザのようなものに罹った患者が中国で出たようだ」と話していました。

台湾では、昨年12月の段階で、

ネット上において武漢のドクターが「変な肺炎が出ている」と呟いているのをキャッチし、直接、情報交換し、SARSの経験から、いち早く出入国をストップさせました。

私は1月7日に日本に帰国しましたが、このニュースが流れ

になったのはチャーター旅客機を武漢に3機飛ばしたというのとダイヤモンドプリンセス号のニュースが報じられるようになってからです。

あの段階で地球防衛軍のようなものを組織して地球全体としての対抗策を講じていけば、今

し、ウイルス対応も後手後手にならずに済んだのです。『スターウォーズ』の発想はそういうところから出てきたのです。



——宇宙人の地球侵略はSF物語としても、地球環境の破壊が進む今日、どんなウイルスが

ヤモンドプリンセス号の対応も違ったかも知れませんがね。

選挙にコロナを利用して、国と国が喧嘩している場合ではないのですよ。これからのウイルスに勝ち残っていくためには、宇宙規模での戦争を想定し、世界中の人間が気持ちを一つにして戦い、助け合っていくしかないのです。



——宇宙人の地球侵略はSF物語としても、地球環境の破壊が進む今日、どんなウイルスが

「スターウォーズ」が飛び出した時はビックリしましたが、コロナ禍以前の社会生活、経済活動を取り戻す方策があれば教えてください。

コロナは『スターウォーズ』

る気配はそれからもしばらくありませんでした。日本人がこの問題をクローズアップするよう

日のような国際情勢にはならなかったはずで。

発生してもおかしくないので、地球規模での防衛が必要という考えは理解できますね。

中・重症で患者を管理・治療すればいい」と話しました。

問題がクローズアップするよう

「地球を滅亡させるために宇宙人がアジア大陸のどこかの地にコロナウイルスをばら撒いたとか、ウイルスそのものが宇宙人ではないか」という私の突拍子もない話を、まともに聞いてくれる人がいるとは思っていませんが。

古賀 今回のコロナのような前例のない敵との地球規模での戦いはこれからはますます増えてくるはずで、そのためには国際的な組織を設置し、明確な指揮権発動での一致団結した戦いが必要となってきます。今回のコロナはそういう意味で、いきつかけになっていると思います。

あの時点では管理担当者もこれほどまでにコロナウイルスが拡大するとの危機意識はなかったと思いますが、地球環境が破壊される状況下にあつては、いつ何時、このような事態が発生するかわからない時代です。従来の常識で判断するのではなく、万が一のあらゆる状況を想定した対応を考えておく必要があります。

コロナ禍以前の社会生活を取り戻すためには飛沫をコントロールするしかありません。そのためのアイテムが三つあります。一つは「抗菌クリーム」、二つ目が「抗菌鼻マスク」、そして、三つ目が私の開発したコロナウイルスを99.99%除菌するパーシャルデンチャーの「S.P. ダヴィンチ」です。



ダヴィンチのマウスピースがコロナ感染を防ぐ

しかし、あの時点でもしも地球規模で戦うための世界組織が必要だと考える人がいて本気で動き出していれば、世界各国は

——迅速、正確な情報が世界各国へ発信されていけば、ダイ

アメリカ大統領は、「チャイナウイルス」といって、自分の

「S.P. ダヴィンチ」です。



古賀和憲氏 日歯研会長 ②

—コロナ禍で、三つのアイテムだけでこれまでの社会生活が取り戻せませんか。

古賀 この三つのアイテムと使い捨てのティスボ手袋をしていけば、コロナ禍でのドロップリッツコントロールは完璧なので、野球やサッカーなどのスポーツ観戦はもとより、ライブコンサート、演劇などが楽しめるようになり、学校も自由に登校できるようになります。

大学では学生の1割がうつ病になっていると聞きます。3密でもウイルスを体内に入れない、出さないという感染対策を講じればよいだけ、その中心を担っているのが歯科といえます。

—義歯を入れるだけでコロナウイルスを99・99%除菌できるものですか。

古賀 完成したダヴィンチをある

患者さんの口の中に入れてみるとピッタリと入りました。装着感も非常に良いということでしたが、ピツ

は。古賀 パーシャルデンチャーを自分で使っていて違和感があつて、入

らなく、審美的には義歯床内にクラ

スクを必要とする毎日から解放してくれるとなると、こんなうれしい話はないですね。

コロナ対策として予防は大切ですが、われわれがこれまでの日常を取り戻すためには、受身ではなく闘うしかないのです。ダヴィンチはそのための強力な武器となるものなので、追加支援金をダヴィンチのために使っていたら、コロナ禍以前の日常生活が取り戻せると確信しています。

「ダヴィンチ」で以前の社会復活

タリと入りすぎて、むし歯の原因にならないかという話が出てきたので、半永久的に抗菌性のある銀イオン義歯を考えました。

そして、北里大学の北里環境科学センターをお願いして、歯周病とむし歯菌の二つのテストをしたところ、とてもいい結果が出ました。その後コロナ問題が発生したので、7月7日にコロナウイルスの試験を再度依頼しました。すると99・99%の除菌という驚きの結果が出たのです。これには北里環境科学センター

の試験担当者も驚いていました。◆◆◆ ダヴィンチ開発のきっかけ

古賀 義歯だけでなくマウスピースを作つて口の中に入れておけば、大人から子供まで、これまでと同じ日常生活を取り戻せ、経済活動も復活します。

そのためには国や政治家、いろいろな公共施設の窓口にこの新聞記事とダヴィンチのチラシを送付したいと思っています。ワクチンは副作用が心配ですが、義歯やマウスピースは体内に入れるものではなく、100年前から使われている既存の金属の活用なので、安心して使えるものです。これはきつと人類に貢献できるものになると思います。

試験担当者も驚いていました。◆◆◆ ダヴィンチ開発のきっかけ

古賀 パーシャルデンチャーを自分で使っていて違和感があつて、入らなく、審美的には義歯床内にクラ

スクを必要とする毎日から解放してくれるとなると、こんなうれしい話はないですね。

古賀 義歯だけでなくマウスピースを作つて口の中に入れておけば、大人から子供まで、これまでと同じ日常生活を取り戻せ、経済活動も復活します。

そのためには国や政治家、いろいろな公共施設の窓口にこの新聞記事とダヴィンチのチラシを送付したいと思っています。ワクチンは副作用が心配ですが、義歯やマウスピースは体内に入れるものではなく、100年前から使われている既存の金属の活用なので、安心して使えるものです。これはきつと人類に貢献できるものになると思います。